

令和 7 年度 MISA 新入社員研修（二次募集のご案内）

今般、協会主催にて新入社員研修を開催いたします。

システムエンジニアに必携の基盤技術の基礎を習得し、業務アプリケーション開発演習を通じて新入社員の開発実装力の養成と技術思考スキルの向上を図るとともに、社会人として必要な基本動作、各種ビジネススキルやコミュニケーション力等の習得を通じ、新入社員の総合的な実務基礎力の養成と社会人意識の定着を図ります。

技術系コースでは、通信販売関連の業務アプリケーション構築を題材として、各技術分野のスキルを横断した問題解決的な研修プロセスを提供することで、プロフェッショナルな IT エンジニアの基盤となる資質・能力を育んでいくことを目指したカリキュラム構成を行っています。そのために、受講者個々に対して、主体的・対話的・深い学びの場を提供できるよう、また他者と共に創造力を発揮し、協働して解決していく探求的な学びを得ていただけるよう研修設計を行っています。

<二次募集について>

募集コースのうち、「②システム開発技術者育成」「③業務システム開発プロジェクト演習」に空きがあることから、二次募集（若干名）を実施いたします。なお、「①ビジネス基盤養成」は満席につき受付できかねます。何卒ご了承くださいませようお願いいたします。

記

- 主 催：**一般社団法人宮城県情報サービス産業協会
- 対 象：**令和 7 年度採用の新入社員
 - ・新卒者に限らず、第二新卒・中途採用の方もご参加いただけます。
 - ・MISA 会員・非会員、出身学部、プログラミング経験等は問いません。
- 研修期間：**令和 7 年 4 月 2 日(水)～6 月 20 日(金) 計 55 日間 各日 9:30～17:30
 - ・日程の詳細、内容は別紙カリキュラムをご参照ください。
- 受講料（55 日間、1 人あたり）：**

MISA 会員企業（正会員・賛助会員・特別会員）	605,000 円
会員外企業	726,000 円

※いずれも、消費税 10%・資料代を含みます。

<参考> コース単位の参加の場合

コース区分	日程	会員企業 受講料(税込)	会員外企業 受講料(税込)
① ビジネス基盤養成	4/2(水)～4/11(金) 8日間	88,000円	105,600円
② システム開発技術者育成	4/14(月)～5/30(金) 32日間	352,000円	422,400円
③ 業務システム開発プロジェクト演習	6/2(月)～6/20(金) 15日間	165,000円	198,000円

5. 定 員：

各コース 50 名 ※二次募集では、「②システム開発技術者育成」「③業務システム開発プロジェクト演習」の 2 コースについて、若干名を受け付けます。

6. 会 場：

仙台市中小企業活性化センター セミナールーム（仙台市青葉区中央 1-3-1 AER6 階）

7. 申込方法および募集期間（二次募集）：

下記受付期間に、別紙申込書を MISA 事務局までメールまたは FAX でお送りください。

申し込み期間：令和 7 年 1 月 9 日(木) ～ 令和 7 年 1 月 21 日(火) 17 時

※定員に達した場合は早期に締め切ります。

※「①ビジネス基盤養成」は募集を終了しています。

8. お問い合わせ先：

◆研修内容に関すること；

（公財）仙台市産業振興事業団 及川 （人財委員会・育成 G 新人研修担当）

TEL； 022-748-6877 e-mail； koyoushien@siip.city.sendai.jp

◆申込、受講料に関すること；

MISA 事務局

TEL； 022-217-3023 FAX； 022-217-3055 e-mail； misa@misa.or.jp

[添付別紙]

別紙 1： MISA 新入社員研修の基本体系

別紙 4： 新入社員研修申込書

別紙 2： MISA 新入社員研修・カリキュラム

別紙 5： 【参考】フォローアップ研修内容

別紙 3： 申込にあたっての留意事項

別紙 6： 【参考】人材開発支援助成金

「人材開発支援助成金」など助成金活用をご検討ください！

※ MISA 新入社員研修は、宮城県の認定職業訓練です。

※ 活用にあたっては、各社で事前に直接、各都道府県の労働局等へ照会・ご相談をお願いします。

◆ 人材開発支援助成金について（厚生労働省 Web ページ）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

MISA新入社員研修の基本体系

<育成人材像> MISA 企業の中核となり、将来を担うシステムエンジニアの育成

① コミュニケーション

コミュニケーション力を発揮しながら、課題解決へ向けた具体的な行動の取れる人材
(メンバーシップ、論理思考、情報活用)

② システム化思考力 (業務応用力)

システムの構想から開発までのプロセスを理解し、顧客目線も交えてシステム化思考できる人材
(SE 業務プロセスの模擬体験、品質、納期)

③ 技術の本質的理解

プログラムの動作原理 (ロジック) を理解しシステム開発において応用できる人材
(アルゴリズム、DB、MVC モデル)

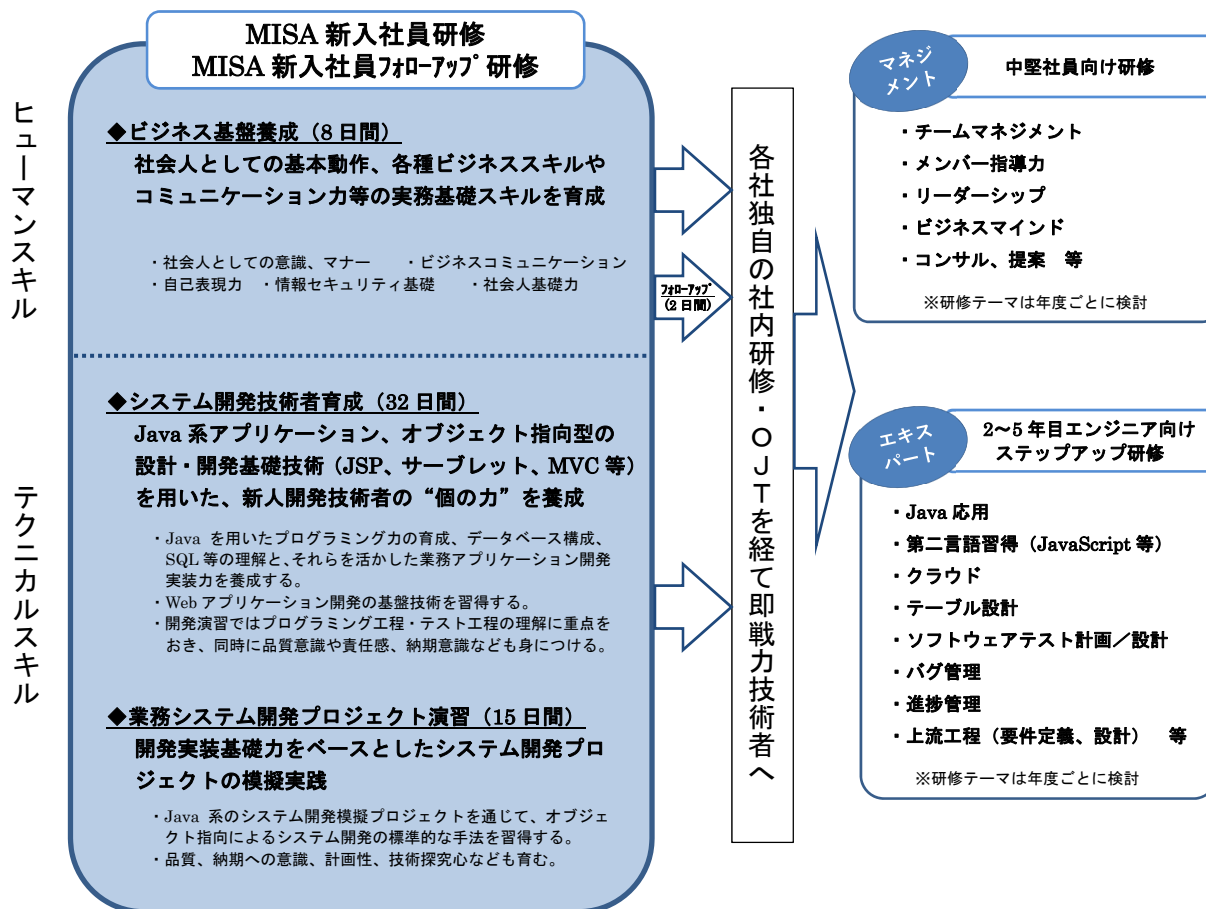
④ 自発性・意欲

自らの仕事の意味をしっかりと理解し、自発的に学習し、考え、活躍しようとする人材
(目的意識、技術を自ら追求する姿勢)

<MISA 人財委員会・育成 G 研修体系イメージ>

1 年目 (新入社員)

2 年目以降 (若手～中堅社員)



令和 7 年度 MISA 新入社員研修 カリキュラム

① ビジネス基盤養成 (8 日間) 4/2(水)~4/11(金) 各日 9:30~17:30

コースの目的・狙い：
社会人としての基本動作、ビジネスの実践の場で要求される各種ビジネススキルやコミュニケーション力等の実務基礎スキルを育成します。
対象・前提条件：
令和 7 年度の新入社員 (新卒者のほか、第二新卒、中途採用の方を含む)
育成・到達目標：
1. ビジネスマナーの基本動作ができる。 (挨拶、言葉遣い、接客・電話対応、身だしなみ、名刺交換等) 2. 組織で働く上での基本動作ができる。 (ビジネス文書作成、報連相、効率性/正確性、PDCA、情報セキュリティ等) 3. 協調性・柔軟性を持った組織内・外コミュニケーションが実践できる。 (チームワーク形成、ミーティング、職場の人間関係形成、接遇等) 4. 主体性・積極性を持った応用コミュニケーションが実践できる。 (論理思考、プレゼンテーション、積極的傾聴等) 5. ビジネスコミュニケーション力を駆使し、実際の現場で即戦力となるビジネス活動ができる。

カリキュラム：

科目・日程	概要	講師
開講式 (合同) 4/2(水) 9:20~	開講挨拶、及びオリエンテーション	
ビジネスマナー&コミュニケーション (3 日間) 4/2(水) ~ 4/4(金)	ビジネスマナー、コミュニケーション基礎 ・社会人必須の各種マナーをはじめ、指示の受け方、報告の仕方、言葉遣い、接客・電話対応、接遇など、現場で必須となる基本行動・コミュニケーション力について、社会人としての意識や人間関係・信頼関係の構築も交えて学習する。 ・ロールプレイング等を中心とした内容により、着実な定着と職場での実践につなげる。	キャリアトーク 代表 志伯暁子氏 (仙台市)
情報セキュリティ基礎 (1 日間) A クラス・B クラスともに 4/7(月)	情報セキュリティ基礎 ・一般的な業務に潜む情報セキュリティ上のリスク (情報の保管、記憶媒体の管理、e-mail の利用、個人情報保護など) を想定し、その対策について学習する。	SEM-IT 代表 高橋史仁氏 (栗原市)

ビジネスコミュニケーション&プレゼンテーション (2日間) Aクラス; 4/8(火)～4/9(水) ※プレゼン実習 4/9(水) Bクラス; 4/10(木)～4/11(金) ※プレゼン実習 4/11(金)	ビジネスコミュニケーション ・仕事の進め方とその中でのコミュニケーションの役割や重要性を学び、必要となる顧客対応力(ヒアリング、e-mail、コンプライアンスなど)に関する応用的なコミュニケーション力を養う。 論理思考、プレゼンテーション ・ロジカルな思考力の鍛錬や相手に説明するためのシナリオ構成の仕方、プレゼンテーションのスキルについて学習する。	マネジメントテクノロジーズ,LLC 代表 尾田友志氏 (東京都)
ヒューマンスキル&ビジネス文書作成 (2日間) Aクラス; 4/10(木)～4/11(金) Bクラス; 4/8(火)～4/9(水)	仕事とチームワーク、ビジネス文書 ・仕事への取組意識、対人折衝、チームワークなど社会人必須のヒューマンスキルに関して、グループでの演習を交えながら実践的に学習する。 ・社内外で必要となる文書作成の基本から、議事録・報告書の作成など文書作成を幅広く学習する。	ホライズンコンサルティンググループ株式会社 代表取締役 庄司和弘氏 (仙台市)
修了式(合同) 4/11(金) 17:30～ 修了挨拶、及び修了証配布		

- ※ 4/2～4/7は1クラスにて実施、4/8～11は2クラスに分割して実施します。
- ※ 所属クラスは原則として企業単位で配分させていただきます。
- ※ 受講者の習熟度等に応じた柔軟な対応を行う目的において、カリキュラムや時間配分を一部変更する場合があります。
- ※ PC等の機材は会場で用意します。
- ※ 土曜日・日曜日は休講です。

② システム開発技術者育成 (32 日間) 4/14(月)～5/30(金) 各日 9:30～17:30

講 師： 株式会社 JC-21 教育センター 教育部 課長 山田洋氏 (仙台市) ほか

コースの目的・狙い：
アプリケーション開発に不可欠な情報処理の基礎技術と開発実装力を養います。Java を用いたプログラミング力の育成とデータベース構成や SQL、サーバサイド技術の基礎を理解するとともに、MVC モデルを用いた業務アプリケーションの開発演習を通じ、開発現場における実務的な留意点や品質意識、納期意識なども同時に学びながら、実装・テストのスキルについて理解を深めます。開発演習は個人演習とチーム演習を織り交ぜながら行い、参加者個々が着実に開発実装力を高めることを狙いとします。
対象・前提条件：
プログラマーやシステム開発技術者に必要な IT 基礎知識や開発実装力の育成をしたい企業の、令和 7 年度の新社員（新卒者のほか、第二新卒、中途採用の方を含む）。 ※事前のプログラミング経験の有無は問いません。 ※学習経験者・未経験者混合クラスで行います。
育成・到達目標：
1. プログラミングに必要な論理的思考力を習得する。 2. Java の言語仕様、プログラムの基本原理を理解し、実装できる。 3. 業務系システムの必須技術であるデータベースの基本技術を理解し実装できる。 4. Web アプリケーション開発に必要な実践技術（MVC モデル、JSP、サーブレット等）を理解する。 5. 例外処理、バグなど開発現場における必須の留意点を同時に学び、ソフトウェアの品質意識を持つ。
研修で扱う言語・開発環境：
・プログラミング言語：多くの開発現場で必要とされるオブジェクト指向の概念を理解・習得するのに適する、Java (JDK) を使用します。 ・サーバサイドプログラミング：近年は SpringBoot 等のフレームワークを用いることも多くなっていますが、研修受講者の将来性を考慮し、その基盤技術である JSP/Servlet を学習します。 ・その他使用予定： MySQL、Tomcat、VSCode、GoogleDrive、GoogleForm、7zip 等 ※PC (Windows10) 等の機材は会場で用意します。

カリキュラム：

科目・日程	概 要
開講式 4/14(月) 9:20～	開講挨拶、及びオリエンテーション
システム開発基礎知識 /SE とは 4/14(月)～4/15(火) (2 日間)	<ul style="list-style-type: none"> ・IT 技術者に求められる資質のほか、システム開発における各工程の概要と留意点を学習する。 ・コンピュータシステム基礎および周辺知識を学習する。 ・要求分析を含むペーパープロトタイプ演習を通じて、SE 業務を疑似体験する。
Java プログラミング① /基本構文 4/16(水)～4/21(月) (4 日間)	<ul style="list-style-type: none"> ・Java を用いて、プログラミング言語の特徴やデータ型、基本構文（条件分岐、繰り返し、演算子）を学習する。 ・実在する EC サイトを参照しながら、機能の観察、アクティビティ図等の作図、文法解説及びプログラミング演習を実施する。

Java プログラミング② ／クラス・メソッド 4/22(火) ～ 4/25(金) (4日間)	<ul style="list-style-type: none"> 多くの開発現場で活用されるオブジェクト指向の概念に触れながら、目的を実現するための Java 構文、クラスやメソッド、オブジェクトを学習し、プログラミング基礎力の定着を図る。 実在する EC サイトを参照しながら、機能の観察、クラス図等の作図、文法解説及びプログラミング演習を実施する。
オブジェクト指向 Java プログラミング 4/28(月) ～ 5/7(水) (5日間)	<ul style="list-style-type: none"> 業務アプリケーション開発を見据え、例外処理、抽象化などの Java 構文を学習する。 Java 言語を通して、クラスの継承や多態性、カプセル化などオブジェクト指向の概念の理解を深める。
RDB 入門 5/8(木) ～ 5/12(月) (3日間)	<ul style="list-style-type: none"> データベースシステムの概要、SQL 言語を学習する。 データベースの構造や ER 図による整合性のあるデータベース設計を学習する。
サーバサイド プログラミング 5/13(火) ～ 5/21(水) (7日間)	<ul style="list-style-type: none"> MVC モデル設計について学習し、課題演習のシステム設計へとつなげる。 Java 系システムと親和性の高い JSP／Servlet を用いて、Web アプリケーション構築に必要な概念・知識を習得する。 HTML・CSS や HTTP といった関連技術の要点を学習する。
ソフトウェアテスト技法・ UML 5/22(木) (1日間)	<ul style="list-style-type: none"> システムやソフトウェアの開発プロセスにおけるテストの位置づけを理解し、品質の重要性を理解する。 品質保証につながるテストケースを作成するための基本技法を学習する。 思考の整頓・発展、および他者への統一的表現の手段として UML を理解する。
業務アプリケーション プログラミング演習 5/23(金) ～ 5/30(金) (6日間)	<ul style="list-style-type: none"> Java アプリケーション開発演習を行い、実装力を育成する。 講師提示の課題（設計書）に基づき、プログラミング工程とテスト工程の演習を通して、業務アプリケーション開発について理解を深める。
修了式 5/30(金) 17:30～ 修了挨拶、及び修了証配布	

- ※ 受講者の習熟度等に応じた柔軟な対応を行う目的において、カリキュラムや時間配分を一部変更する場合があります。
- ※ 講義演習中に小テスト等を行い、受講者の理解度等をこまめに把握しながら進行します。
- ※ 土曜日・日曜日のほか、4/29、5/5、5/6 は休講です。

③ 業務システム開発プロジェクト演習（15日間）6/2(月)～6/20(金) 各日9:30～17:30

講師： 株式会社 JC-21 教育センター 教育部 課長 山田洋氏（仙台市） ほか

コースの目的・狙い：
<p>オブジェクト指向を用いたシステム開発の設計・実装力を養成します。前コースまでに習得した Java、SQL、サーバサイド技術、MVC モデルの概念等の要素技術の定着を中心としながら、PBL（Project Based Learning）による Java 系 Web システム開発模擬演習を通して、システムの設計から実装、テストまで一連の開発工程に対する理解を深めます。</p> <p>開発演習では、IT 企業の要望の高いコミュニケーション力やチームワーク、主体性、計画力、実行力、要求の分析やユーザ視点など、開発現場で要求される人間力も同時に養うことができます。</p>
対象・前提条件：
<p>開発工程一連の理解と、設計・実装力の育成を重視する企業の、令和 7 年度の新入社員（新卒者のほか、第二新卒、中途採用の方を含む）。</p> <p>※「②システム開発技術者育成」相当のスキルがあることを前提としています。同コース未受講の方でも参加できますが、その場合は事前に社内教育等で習得していることが参加条件となります。</p> <p>※学習経験者・未経験者混合チームで行います。</p>
育成・到達目標：
<ol style="list-style-type: none"> 1. Java 系の模擬 IT システム開発プロジェクトの実践を通じて、オブジェクト指向によるシステム開発の標準的な手法や流れを理解する。 2. 与件情報、模擬ヒアリングを基に、必要な機能の分析、設計、コーディング、テストを実践する。 3. 定期的に要件の確認、レビューを行い、SE として必要な基本動作・コミュニケーション能力を実践できる。 4. 例外処理、バグなど開発現場における必須の留意点を同時に学び、ソフトウェアの品質意識を持つ。 5. チームでのプロジェクト推進の実体験を通じて、リーダーシップやコミュニケーション、主体性や計画力、納期を意識した行動を現場で実践できる。

カリキュラム：

<p>業務システム開発プロジェクト演習 6/2(月)～6/20(金) (15日間)</p> <p>※参観（予定）：最終プレゼン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Java 系業務システムを題材に、模擬顧客へのヒアリング、要件定義、設計、開発、テストまでの Web アプリケーション開発プロジェクトの流れをチームにて実践する。 ・ 他社参加者との混合チームを編成し、顧客・上司の役割を兼ねる講師の指導を受けながら、開発プロジェクト遂行の疑似体験を通じて開発総合力を養成する。
<p>ゲストセミナー 「メンタルヘルス」 6/13(金) 16:20～17:20 (1h)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ MISA 提携産業医による講話 ・ 新人エンジニアが陥りやすいメンタル不調を防ぐための、ストレスマネジメント、セルフケアを学ぶ。
<p>修了式 6/20(金) 17:30～ 修了挨拶、及び修了証配布</p>	

※ 受講者の習熟度等に応じた柔軟な対応を行う目的において、カリキュラムや時間配分を一部変更する場合があります。

※ 開発環境・使用ツール・機材等は「システム開発技術者育成」に準じます。

※ 土曜日・日曜日は休講です。

その他、補足情報

【受講者交流会の開催について】

参加者確定後、別途ご案内いたします。

【企業関係者の参観について①】

「ビジネス基盤養成」におけるプレゼンテーション実習では、受講者各々がテーマに沿ったプレゼンを行い、講師の指導を受ける様子をご参観いただけます。

「ビジネス基盤養成」プレゼンテーション実習

日時； Aクラス：4/9(水)、Bクラス：4/11(金) それぞれ午後を予定
会場； 仙台市中小企業活性化センター セミナールーム
(仙台市青葉区中央 1-3-1 AER6 階)

- ・当実習の参観は任意です。
- ・時間は午後半日を想定していますが、4/4 頃に詳しいスケジュール、プレゼンテーマ、参観案内を各企業ご担当者様へお知らせいたします。

【企業関係者の参観について②】

「業務システム開発プロジェクト演習」では、最終日の成果発表会を企業関係者の参観機会として予定しております。

詳細は後日お知らせいたします。

令和7年度MISA新入社員研修カリキュラム (4/2～6/20 55日間)

コース区分

①ビジネス基礎養成	4/2(水)～4/11(金) 8日間
②システム開発技術習得養成	4/14(月)～5/30(金) 32日間
③業務システム開発プロジェクト演習	6/2(月)～6/20(金) 15日間

講義時間 9:30～17:30 (昼休憩12:00～13:00、小休(含む))

日 程	科 目	内 容 (抜粋)
4月1日 火		
4月2日 水	ビジネスコミュニケーション-1	社会人の心構え、ビジネスマナー、挨拶、言葉遣い
4月3日 木	ビジネスコミュニケーション-2	挨拶、接客姿勢、電話応対
4月4日 金	ビジネスコミュニケーション-3	言葉遣い、話し方トレーニング、総合演習
4月5日 土		
4月6日 日		
4月7日 月	情報セキュリティ基礎	情報セキュリティ基礎

<Aクラス>		<Bクラス>	
4月8日 火	ビジネスコミュニケーション①&ビジネススキル プレゼンテーション-1	※4/8～4/11はクラス分けで進行 (伊原啓祐担当)	ビジネスコミュニケーション&プレゼンテーション-1 社会人基礎力、ワークデザイン、ビジネスコミュニケーション
4月9日 水	ビジネスコミュニケーション②&ビジネススキル プレゼンテーション-2		ビジネスコミュニケーション&プレゼンテーション-2 プレゼンテーション実習
4月10日 木	ビジネスコミュニケーション③&ビジネススキル プレゼンテーション-1		ビジネスコミュニケーション①&ビジネススキル 企業・組織・社会、コンセンサススキル
4月11日 金	ビジネスコミュニケーション④&ビジネススキル プレゼンテーション-2		ビジネスコミュニケーション② メール、社内文書、文章表現
4月12日 土			
4月13日 日			
4月14日 月	システム開発基礎演習/SEとは-1		SEに求められる資質、開発プロセス、開発環境、プロジェクトニング
4月15日 火	システム開発基礎演習/SEとは-2		プロジェクトニングの基礎知識、開発の進め方、出しと業務の理解
4月16日 水	Javaプログラミング①/基本構文-1		Webアプリケーションの発注書、Java、画面表示、変数、配列 変数、配列、配列の初期化、配列の初期化、配列の初期化
4月17日 木	Javaプログラミング②/基本構文-2		商品情報の表示、アクティビティ図、if-else文、[カードの領域]内図、プロ グラム
4月18日 金	Javaプログラミング③/基本構文-3		条件分岐制御図、try-catch文、ループのアクティビティ図、for文、while 文、[商品検索]アクティビティ図
4月19日 土			
4月20日 日			
4月21日 月	Javaプログラミング④/基本構文-4		繰り返し制御図、[商品検索]プログラミング
4月22日 火	Javaプログラミング⑤/クラス・メソッド-1		クラス、フィールド、メソッド、引数と戻り値、newとオブジェクト参照、継 承、パッケージとimport、[おすまじ]画面表示、画面検索作成
4月23日 水	Javaプログラミング⑥/クラス・メソッド-2		おすまじ画面表示、商品検索プログラミング、クラス、メソッド、ArrayList
4月24日 木	Javaプログラミング⑦/クラス・メソッド-3		クラスとオブジェクト、自作クラスのArraylist、[カード機能]内図、プログラ ミング
4月25日 金	Javaプログラミング⑧/クラス・メソッド-4		コメントライン引継、Integer.parseInt(), [カード機能]プログラミング
4月26日 土			
4月27日 日			
4月28日 月	オブジェクト指向Javaプログラミング-1		クラスとオブジェクト、static、publicとprivate、コンストラクタ、setterと getter、bean、オーバーロード
4月29日 火	(振替休日)		
4月30日 水	オブジェクト指向Javaプログラミング-2		サブクラス定義、継承とメソッド、[カード機能]内図、プログラミング

日 程	科 目	内 容 (抜粋)
5月1日 木	オブジェクト指向 Javaプログラミング-3	参照型変数、try-catch構文、例外、try-with-resources、例外処理、[カード機能]プログラミング
5月2日 金	オブジェクト指向 Javaプログラミング-4	オブジェクト指向、try-with-resources、例外処理、[カード機能]プログラミング
5月3日 土	(振替休日)	
5月4日 日	(土・日の日)	
5月5日 月	(こどもの日)	
5月6日 火	(振替休日)	
5月7日 水	オブジェクト指向 Javaプログラミング-5	[カード機能]プログラミング、抽象クラス、インターフェース
5月8日 木	RODB-P1	リレーショナルデータベース、エンティティ、アトリビュート、リレーシ ョン、ER図作成演習
5月9日 金	RODB-P2	キー、1:N、N:Nのデータベース、物理データベース構造、SQL文
5月10日 土		
5月11日 日		
5月12日 月	RODB-P3	WHERE句、集約関数、GROUP BY句、HAVING句、ORDER BY句、SQL 作成演習
5月13日 火	サーバサイドプログラミング-1	Webアプリケーションの作成、HTML、CSS
5月14日 水	サーバサイドプログラミング-2	Webページ作成演習、JSP、データベース接続
5月15日 木	サーバサイドプログラミング-3	Beanの作成、DAOの作成、JSPの作成、[商品表示]アプリケーション作成演習
5月16日 金	サーバサイドプログラミング-4	Beanの作成、DAOの作成、JSPの作成、[商品表示]アプリケーション作成演習 エントリメタデータの取得、[商品検索]アプリケーション作成演習
5月17日 土		
5月18日 日		
5月19日 月	サーバサイドプログラミング-5	[商品検索]アプリケーション作成演習、INSERTを行うDAO、[商品検索]機能作成演習、 sqlの基本的
5月20日 火	サーバサイドプログラミング-6	PreparedStatement、ResultSet、PreparedStatement、ResultSet、PreparedStatement、ResultSet
5月21日 水	サーバサイドプログラミング-7	トランザクション、session、ログイン処理、ログイン機能作成演習
5月22日 木	ソフトウェアテスト技術・UML	設計とテスト、テスト技術、ユースケース図、アクティビティ図、クラス図、 シーケンス図
5月23日 金	業務アプリケーション プログラミング演習-1	業務アプリケーション作成演習
5月24日 土		
5月25日 日		
5月26日 月	業務アプリケーション プログラミング演習-2	業務アプリケーション作成演習
5月27日 火	業務アプリケーション プログラミング演習-3	業務アプリケーション作成演習
5月28日 水	業務アプリケーション プログラミング演習-4	業務アプリケーション作成演習
5月29日 木	業務アプリケーション プログラミング演習-5	業務アプリケーション作成演習
5月30日 金	業務アプリケーション プログラミング演習-6	業務アプリケーション作成演習
5月31日 土		

日 程	科 目	内 容 (抜粋)
6月1日 日		
6月2日 月	業務システム開発 プロジェクト演習-1	要件定義フェーズ
6月3日 火	業務システム開発 プロジェクト演習-2	要件定義フェーズ
6月4日 水	業務システム開発 プロジェクト演習-3	要件定義フェーズ
6月5日 木	業務システム開発 プロジェクト演習-4	設計フェーズ
6月6日 金	業務システム開発 プロジェクト演習-5	設計フェーズ
6月7日 土		
6月8日 日		
6月9日 月	業務システム開発 プロジェクト演習-6	設計フェーズ
6月10日 火	業務システム開発 プロジェクト演習-7	製造・テストフェーズ
6月11日 水	業務システム開発 プロジェクト演習-8	製造・テストフェーズ
6月12日 木	業務システム開発 プロジェクト演習-9	製造・テストフェーズ
6月13日 金	業務システム開発 プロジェクト演習-10	製造・テストフェーズ
6月14日 土		
6月15日 日		
6月16日 月	業務システム開発 プロジェクト演習-11	製造・テストフェーズ
6月17日 火	業務システム開発 プロジェクト演習-12	製造・テストフェーズ
6月18日 水	業務システム開発 プロジェクト演習-13	製造・テストフェーズ
6月19日 木	業務システム開発 プロジェクト演習-14	製造・テストフェーズ、納品、プレベンション準備
6月20日 金	業務システム開発 プロジェクト演習-15	プレベンション準備、プレベンション準備
6月21日 土		

※受講者の習熟度等に応じた柔軟な対応を行うため、カリキュラムや時間配分を一部変更する場合があります。

令和7年度 MISA 新入社員研修 申込に当たっての留意事項（二次募集）

① 申込受付期間

二次募集の申込受付期間は令和7年1月9日(木)～令和7年1月21日(火)17時です。この前後での受付はできかねます。なお、定員に達し次第締め切ります。

② 参加対象

新卒者のほか、第二新卒や中途採用の方もご参加いただけますが、研修に専念できるよう社内調整をお願いいたします。業務都合（会社行事等を除く）による欠席は他の受講者の迷惑になる場合がございますので極力避けてください。

③ 二次募集の申込要件

二次募集で申込可能なコースは、「システム開発技術者育成」「業務システム開発プロジェクト演習」です。いずれか一方の申込も可能です。「ビジネス基盤養成」は満席につき受付できかねます。何卒ご了承くださいますようお願いいたします。

④ 受講料のお支払い

受講確定後、MISA 事務局より請求書と受講案内をお送りいたしますので、指定期日までに振込をお願いいたします。請求書発行後のキャンセルは原則としてできませんので予めご了承ください。

⑤ 事前スキル調査

研修運営やグループ分け等の参考にするため、受講者の属性や技術経験等に関する事前アンケートを2～3月に実施します。アンケートフォーマットは原則メールにてお申込窓口ご担当者様へお送りいたします。

⑥ 修了要件について

本研修の修了要件は、コース毎に総研修時間の出席率 80%以上です。

⑦ 別紙5：【参考】「新入社員フォローアップ研修」について（事前調査）

参加を予定される場合は、申込書の「フォローアップ研修」欄に「○」を記入してください（この時点での受講義務は発生しません）。本募集の際、定員を超える申込みがあった際に優先的に参加できます。

⑧ 別紙6：【参考】「人材開発支援助成金」について

助成金の活用は任意です。活用にあたっては厚生労働省 HP をご参照の上、各労働局へお問合せください。

宮城県情報サービス産業協会 事務局 御中

Fax: 022-217-3055 E-mail: misa@misa.or.jp

「令和7年度 MISA 新入社員研修」申込書

※二次募集※

貴社名			
貴社住所	(〒)		
申込担当者名		所属・役職	
TEL		E-mail	

参加者氏名		申込コース (○を入力)			事前調査 (○を入力)
No	氏名 (ヨミガナ)	① ビジネス 基盤養成	② システム開発 技術者育成	③ 業務システム 開発PJ演習	フォローアップ 研修
1		—			
2		—			
3		—			
4		—			
5		—			
6		—			
7		—			
8		—			
9		—			
10		—			
特記事項、ご要望など					
【アンケート】 助成金の利用を予定している場合は助成金名をお知らせください。		(例: 人材開発支援助成金「人材育成訓練」)			

※「フォローアップ研修」の欄は事前調査を目的としています。現時点で受講を予定される場合に「○」を入力してください。

本調査の回答による受講義務は発生しません。後日行う正式募集時に優先的に受け付けます。

※研修運営に必要な連絡は原則メールで行いますので、担当者メールアドレスは必ずご記入ください。

※11名以上の申込の際は本用紙を複写してご利用ください。

※申込書記載の個人情報は MISA 個人情報保護規定に基づき運用いたします。本研修に関するご連絡を含む、研修運営以外の目的に使用することはありません。



[別紙5:参考]

一般社団法人宮城県情報サービス産業協会
新入社員フォローアップ研修内容（参考）

◆研修目的：

令和7年度採用の新入社員を対象に、新入社員研修とその後の実務、あるいはOJT／社内教育を踏まえてフォローアップを行い、会社からの期待に応えられる人材になるための主体的な実行力や自己成長力の向上とプロ意識の確立、対人能力やビジネス思考力のアップを図ります。

また、入社から数ヶ月程の期間が過ぎた中で、同世代の異なる企業の受講者間での交流を深め、刺激を享受し、社外人的ネットワークの形成、今後の成長の糧となることも目的としております。

◆受講対象者：

令和7年度採用の新入社員（新卒者のほか、第二新卒、中途採用の方を含む）

※業種、所属部門等は問いません。

※MISA新入社員研修の受講有無や、MISA会員・非会員は問いません。

◆日時：

令和7年8月26日(火)～8月27日(水) 2日間 9:30～17:00（予定）

◆会場（予定）：

仙台市中小企業活性化センター（AER6F）セミナールーム

◆受講料：

MISA会員：22,000円／非会員：27,500円（いずれも消費税10%、資料代込み）

◆定員：

40名（20名×2クラス）

※クラス分けを行いますが、学習内容・担当講師に違いはありません。

◆お申込：

後日、一般参加者も対象とした募集案内の通知を行います。

新人研修申込時の事前調査欄に「○」を入力した方は優先的に受け付けます。

（裏面につづく）

◆予定カリキュラム：

研 修 名	内 容
<p>1.ビジネスマナー&コミュニケーション応用</p> <p>(A クラス) 8月26日(火) (B クラス) 8月27日(水) 9:30~17:00 (6.5 時間)</p>	<p>ビジネスマナーの振り返りと応用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、名刺交換、敬語、立ち振る舞い、言葉づかいや表現の仕方、電話応対など (ロールプレイング中心) <p>ビジネスの現場でのコミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロの電話応対、真・報連相、相手に合わせて効果的に伝えるスキル、相手を動かす話のまとめ方、スピーチ術、自己理解・他者理解 など (ロールプレイング中心)
<p>2.ビジネススキル&社会人基礎力</p> <p>(A クラス) 8月27日(水) (B クラス) 8月26日(火) 9:30~17:00 (6.5 時間)</p>	<p>周りからの期待に応えるための必要スキルと社会人基礎力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実力ビジネスパーソンに期待される能力 ・現状の社会人基礎力の自己検証と評価、今後の行動目標設定 ・主体的キャリア形成と自己能力開発ポイント ・自己管理の手法 ・タイムマネジメント など

※研修の進捗や受講予定者の状況等により内容や時間配分等を予告なく変更する場合があります。

<講師> (※4月実施のMISA新入社員研修「ビジネス基盤養成」の講師が担当)

1. 志伯暁子氏 (キャリアトーク 代表/仙台市)
2. 庄司和弘氏 (ホライズンコンサルティンググループ株式会社 代表取締役/仙台市)

厚生労働省「人材開発支援助成金」について

MISA 新入社員研修の受講にあたっては、厚生労働省「人材開発支援助成金」の活用をご検討ください。

最新情報や申請要件など、詳細は厚生労働省 HP または各労働局へお問い合わせください。

厚生労働省 HP

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

★MISA 新入社員研修での活用が想定される助成コース

人材育成支援コース

人材育成訓練（OFF-JTのみ）

- 対象企業 大企業、中小企業
- 対象者 申請事業主または申請事業主団体等の構成事業主における被保険者（雇用保険法第4条に規定する被保険者）
※有期契約労働者等を対象とする場合については、厚生労働省HP等をご参照ください。
- 訓練の要件 OFF-JTによる実施
実訓練時間数が10時間以上

※R05年4月より、従来の「特定訓練コース」「一般訓練コース」「特別育成訓練コース」の3コースが「人材育成支援コース」に統合されました。

人への投資促進コース

情報技術分野認定実習併用職業訓練（OFF-JT+OJT）

- 対象企業 大企業・中小企業で、次のいずれかに該当する事業主
 1. 主たる事業が日本標準産業分類の大分類の「情報通信業」であること
 2. IT関連業務を主に担う組織やDXを推進する組織を有していること
- 対象者 次の(1)～(3)のいずれかに該当し、15歳以上45歳未満である労働者
 - (1) 新たに雇い入れた被保険者（雇い入れ日から訓練開始日までが3か月以内である者）
 - (2) 大臣認定の申請前に既に雇用されている短時間等労働者で、引き続き同一の事業主において、通常の労働者に転換した者
 - (3) 既に雇用している被保険者
- 訓練の要件 Off-JTとOJTを効果的に組み合わせた6か月以上2年以下の訓練
情報処理・通信技術者の職種に関連する業務に必要となる訓練
大臣認定（職業能力開発促進法第26条の3）を受けた訓練

※R04年度より新設された「人への投資促進コース：情報技術分野認定実習併用職業訓練」は、OJTとOFF-JTを組み合わせたIT分野の訓練が対象で、従来の「人材育成支援コース（旧 特定訓練コース）：認定実習併用職業訓練」よりも助成率が有利です。

★助成率（額）

中小企業、正規社員対象のみ抜粋。カッコ内は賃金要件又は資格等手当要件を満たす場合。

訓練メニュー	対象訓練	経費 助成率	賃金 助成額	OJT 実施 助成額	備考
人材育成支援コース	人材育成訓練	45% (+15%)	760 円/H (+200 円)	-	
	認定実習併用職業訓練	45% (+15%)	760 円/H (+200 円)	20 万円 (+5 万円)	

人への投資促進コース	高度デジタル人材訓練	高度デジタル訓練 (ITSS・DSS-P Lv3・4)	75%	960 円/H	-	資格試験(受験料)も助成対象。
	成長分野等人材訓練	海外を含む大学院での訓練	75%	国内大学院 960 円/H	-	資格試験(受験料)も助成対象
	情報技術分野認定実習併用職業訓練	・OJT と OFF-JT を組み合わせた、訓練期間 6 カ月～2 年間の訓練 (要大臣認定) ・情報処理・通信技術者の職種に関連する業務に必要な訓練	60% (+15%)	760 円/H (+200 円)	20 万円 (+5 万円)	情報処理・通信技術者の職種に関連する業務経験が無い者。資格試験も助成対象。(受験料、条件有り)
	長期教育訓練休暇制度	長期教育訓練休暇制度や教育訓練短時間勤務等制度を導入し、労働者の自発的な職業能力開発を促進	制度導入助成 20 万円 (+4 万円)	有給休暇のみ 960 円/H	-	教育訓練を受けるために必要な休暇、所定労働時間の短縮・免除等を就業規則等において措置すること
	教育訓練短時間勤務等制度		制度導入助成 20 万円 (+4 万円)	-	-	
	自発的職業能力開発訓練	自発的職業能力開発経費負担制度を利用し実施する訓練	45% (+15%)	-	-	
	定額制訓練	定額制訓練(サブスク型)	60% (+15%)	-	-	

厚生労働省 HP、人材開発支援助成金リーフレット等を基に作成

最新情報や各コースの申請要件など、詳細は
厚生労働省 HP

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

または労働局等にお問合せください。

- ・厚生労働省から訓練講座への認定行為等はなく、申請要件を満たすかどうか等は個社ごとに判断されます。MISA として確実な助成を保証することはできかねます。また、なお、申請そのもののサポートは行っておりません。ご了承ください。
- ・当 MISA 新入社員研修募集案内以外で、申請に必要な資料の準備が必要な場合は、MISA 事務局までご相談ください。
- ・MISA 新入社員研修は、宮城県より「認定職業訓練」の認定を受けています。